ブルー・ハワイ（1961）

BLUE HAWAII

メディア　映画
ジャンル　ロマンス　音楽
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　101分
初公開日　1962/05/12
公開情報　ＰＡＲ
リバイバル　1973/07［松竹映配］

【キャッチコピー】
プレスリーの第二の故郷ハワイ…　逢う時も別れの時も素敵な常夏の島！　エルビスの熱唱と甘美な恋で綴る　華麗なミュージカル＝ファンタスティック（リバイバル時）

【解説】
　兵役について戻ってからのプレスリー映画は大体こんなもので、同年のドン・シーゲル監督の「燃える平原児」やフィリップ・ダン監督の「嵐の季節」などまず例外的なシリアスな作品だ。復員したチャド（プレスリー）が、母の勧める父の会社への就職を拒み、混血の恋人マリー（Ｊ・ブラックマン）の勤める旅行代理店にガイドとして入社。独力で地歩を固めようというのだが、四人の女生徒を連れた美人教師を案内するハワイ一周旅行で大乱闘を演じて解雇される。マリーとの交際も両親によって反対されて、ふんだりけったりのチャド。彼は再び教師一行のガイドにつき、女性たちの恋のさや当ての的となって散々な思いをした挙げ句、やがて新しい仕事を見つけ、めでたくマリーと結ばれる。と、お話的には流してみればよい作品で、表題曲を初めとし、プレスリーがハワイアンの古典を中心に、１４曲も歌うのがお楽しみ。そして、もちろんハワイの名所めぐりが目に賑やか。それもこれも彼が“ガイド”役である賜物で、日本映画なら、いつもその設定でシリーズ化してしまうだろう。

【クレジット】

監督	ノーマン・タウログ	Norman Taurog
製作	ハル・Ｂ・ウォリス	Hal B. Wallis
原作	アラン・ワイス	Allan Weiss
脚本	ハル・カンター	Hal Kanter
撮影	チャールズ・ラング・Ｊｒ	Charles Lang Jr.
音楽	ジョセフ・Ｊ・リリー	Joseph J. Lilley
出演	エルヴィス・プレスリー	Elvis Presley
	ジョーン・ブラックマン	Joan Blackman
	アンジェラ・ランズベリー	Angela Lansbury
	ローランド・ウィンタース	Roland Winters
	パメラ・オースティン	Pamela Austin

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.